

歯科麻酔学

4 年次 後学期	授業科目責任者：渋谷 鑛 (歯科麻酔学)
学習の目標 (GIO)	1. 全身麻酔法、局所麻酔法および精神鎮静法に必要な基礎知識 (生理学、薬理学、神経学、解剖学) を習得する。 2. 歯科治療中の全身管理学と偶発症発生時の対応について学ぶ。 3. 救急処置に必要な知識と技術を習得する。 4. 歯科・口腔領域の痛み治療の基礎知識と東洋医学的治療法について学ぶ。
授業担当者	歯科麻酔学講座：渋谷 鑛，山口秀紀，石橋 肇，卯田昭夫，下坂典立，鈴木正敏，米長悦也，郡家正彦，大橋一之，武田和久，吉村宅弘，金子守男，松本隆正，別部智司，橋本崇文，大熊一雄，西連寺央康
教科書	1) スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第2版，学建書院 2) 痛みの診断・治療マニュアル，医歯薬出版 3) 臨床経穴図，医道の日本社
参考図書	1) シナリオで学ぶチュートリアル歯科麻酔・住友雅人，小谷順一郎，渋谷 鑛編，医歯薬出版 2) 臨床に役立つ麻酔読本，鈴木 太監修，日本醫事新報社
実習器材	麻酔・救急・針キット
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (100%) によって評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を講じることがある。 実習：小テスト (50%)，実習評価 (50%)。実習態度も実習評価に加味する。 講義・実習それぞれ 1/5 以上を欠席した場合、成績評価は 0 ~ 60 点とする。 なお、講義について合格点 (60 点) に達しない者に対し、再試験を行うが、講義を 1/5 以上欠席した場合、再試験の受験資格を与えない。また、講義・実習のいずれかが合格点に達しない場合、評価点は 60 点未満とする。 最終評価は、講義 (70%)、実習 (30%) の割合とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	麻酔は怖いもの、奇異なものというイメージを払拭し、安全なもの、扱いやすいものというイメージを持ってほしい。 口腔内への侵襲だけではなく、いつも全身への影響を考える意識を持つことを実習から学んでほしい。 オフィスアワー：渋谷，山口，石橋，卯田，下坂，鈴木 月曜日 16:30 ~ 17:30

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月2日 (水) 13:00 ~ 14:30	麻酔 (科) 学概論	【準備学習項目】 1. 麻酔の歴史の概略を述べるができる。 2. 歯科麻酔学の特徴を述べるができる。 【講義】 1. 麻酔学の発達と歴史上の史実・変遷について述べるができる。 2. 麻酔学の重要性と今日の歯科麻酔が担うべき役割を理解する。 < 必 17-A >	渋谷鑛
10月2日 (水) 14:40 ~ 16:10	全身管理の基本 ・全身管理に必要な生理学	【準備学習項目】 解剖学、生理学、生化学で学んだ当該項目について説明できる。 【講義】 1. 呼吸の基礎知識について説明できる。 2. 循環の基礎知識について説明できる。 3. 神経の基礎知識について説明できる。 4. 代謝・内分泌の基礎知識について説明できる。 < 必 -6-A-f >	卯田昭夫
10月9日 (水) 13:00 ~ 14:30	全身管理の基本 ・全身状態評価 ・管理上問題となる疾患の病態	【準備学習項目】 解剖学、生理学、臨床検査学で学んだ当該項目について説明できる。 【講義】 1. 術前診察について説明できる。 2. 臨床検査について説明できる。 < 必 -10-E、必 -11-C > 3. 手術危険度について説明できる。 4. 管理方法の選択について説明できる。 < 総 -(X)-4-B,D、各 -(IV)-5-A, B >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月9日(水) 14:40 ~ 16:10	全身管理の基本 ・管理上問題となる疾患	【準備学習項目】 これまで歯科麻酔学で学んだ項目を列挙して説明できる。 【講義】 1.呼吸器系疾患について説明できる。 2.循環器系疾患について説明できる。 3.脳・神経系疾患について説明できる。 4.代謝・内分泌系疾患について説明できる。 5.肝疾患について説明できる。 6.腎疾患について説明できる。 7.妊婦について説明できる。 < 必-8, 10, 11, 総-(IX)-3, 4 >	同上
10月16日(水) 13:00 ~ 14:30	局所麻酔	【準備学習項目】 1.局所麻酔の始まりについて述べるができる。 2.痛みの伝達について説明できる。 【講義】 1.局所麻酔の歴史について学ぶ。 < E-1-3)-(3)/ 必-15-J-a, 総-(X)-6-A > 2.局所麻酔薬に関する神経生理学と薬剤の特徴について説明できる。 < E-1-3)-(3)/ 必-15-J-a, 総-(X)-6-B >	石橋肇
10月16日(水) 14:40 ~ 16:10	局所麻酔	【準備学習項目】 1.歯科用局所麻酔薬の特徴を述べるができる。 2.血管収縮薬の種類を述べるができる。 【講義】 1.歯科用局所麻酔薬の特徴と使用上の注意点について説明できる。 2.血管収縮薬の薬理について説明できる。 < E-1-3)-(3)/ 必-15-J-a, 総-(X)-6-B > 3.局所麻酔の偶発症について説明できる。 < E-1-3)-(3)/ 必-15-J-a, 総-(X)-6-F, 各-IV-(IV)-4-A, B, C, D, E >	同上
10月23日(水) 13:00 ~ 14:30	精神鎮静法	【準備学習項目】 精神鎮静法を説明できる。 【講義】 1.精神鎮静法の適応症、選択および管理方法について列挙できる。 2.静脈内鎮静法および吸入鎮静法の適応と使用薬剤、管理方法を具体的に説明できる。 < E-1-3)-(2)/ 必-15-J-c, 総-(X)-6-G, H >	同上
10月23日(水) 14:40 ~ 16:10	精神鎮静法	【準備学習項目】 精神鎮静法の種類を列挙し、説明できる。 【講義】 1.精神鎮静法の実際について述べるができる。 2.精神鎮静法後の帰宅許可の基準について述べるができる。 3.精神鎮静法後の患者への注意事項を述べるができる。 < E-1-3)-(2)/ 必-15-J-c, 総-(X)-6-G, H >	同上
10月30日(水) 13:00 ~ 14:30	患者管理の実際(その1) バイタルサインとモニタリングの実際 ・10月30日から11月20日の患者管理の実際(その1~4)は4班に分けてグループごとにローテーションで行う。	【準備学習項目】 1.医療面接について説明できる。 2.バイタルサインを列挙し、概要を述べるができる。 【講義】 1.歯科外来の一般的医療面接項目の列挙と医療面接の実際と合併症を有する患者の対診時の実際について説明できる。 < E-1-3)-(1)- / 必-8, 総-(VIII)-1 > 2.バイタルサインについて説明できる。 < E-1-3)-(1)- / 必-10-E-c >	渋谷鑛 石橋肇 下坂典立 大熊一雄 金子守男 西連寺央康 橋本崇文 松本隆正 米長悦也 山口秀紀 卯田昭夫 鈴木正敏 大橋一之 郡家正彦 武田和久 別部智司 吉村宅弘
10月30日(水) 14:40 ~ 16:10	患者管理の実際(その1) バイタルサインとモニタリングの実際	【準備学習項目】 バイタルサインを列挙し、説明ができる。 【実習】 1.各バイタルサインの的確な把握とその実際を行うことができる。 2.血圧測定を行うことができる。緊急時の測定ができる。 3.モニタリングを実際に行うことができる。 < E-1-3)-(1)- / 必-10-E-c > 4.血糖測定を行い数値の解釈ができる。 < E-1-3)-(1)- / 総-(IX)-4-F > 5.歯科麻酔学救急キットの器具の使用方法について理解する。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月6日(水) 13:00～14:30	患者管理の実際(その2) 東洋医学的治療法と針・灸の実技	【準備学習項目】 東洋医学を簡単に説明できる。 【講義】 1. 東洋医学療法の概略について学ぶ。 2. 東洋医学と西洋医学の違いについて説明できる。	同上
11月6日(水) 14:40～16:10	患者管理の実際(その2) 東洋医学的治療法と針・灸の実技	【準備学習項目】 鍼灸を簡単に説明できる。 【実習】 1. 歯科口腔領域に用いられる経穴・経絡を列挙できる。 2. 鍼灸治療の実際を理解する。 3. 針の弾入、刺針、置針を含めた針の操作を行える。 4. 灸法について述べるができる。 5. 針麻酔(和痛)の概念を理解する。	同上
11月13日(水) 13:00～14:30	患者管理の実際(その3) 救急処置(1)	【準備学習項目】 1. 気道確保法を列挙できる。 2. 胸骨圧迫の重要性を述べるができる。 【講義】 1. 気道閉塞および気道確保法を説明できる。 2. 胸骨圧迫について説明できる。 < E-1-5/ 必-13-B-a, 総-(X)-3 >	同上
11月13日(水) 14:40～16:10	患者管理の実際(その3) 救急処置(1)	【準備学習項目】 心肺蘇生法の手順を述べるができる。 【実習】 1. 意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 < E-1-5/ 必-13-A, 総-(X)-3 > 2. 気道閉塞および気道確保法を説明できる。 3. 呼気吹き込み法による人工呼吸を行える。 4. 胸骨圧迫心臓マッサージを行える。 5. AEDを使用できる。 < E-1-5/ 必-13-B-a, 総-(X)-3 >	同上
11月20日(水) 13:00～14:30	患者管理の実際(その4) 救急処置(2)	【準備学習項目】 1. 除細動の適応を述べるができる。 2. 心停止時の対応法を述べるができる。 【講義】 1. 安全なAEDの使用法を説明できる。 2. 心肺蘇生法の手順を説明できる。 < E-1-5/ 必-13-B-a, 総-(X)-3 >	同上
11月20日(水) 14:40～16:10	患者管理の実際(その4) 救急処置(2)	【準備学習項目】 心停止時の患者に心肺蘇生法を行える。 【実習】 1. 傷病者発見から短時間で心肺蘇生法を開始できる。 2. 心肺蘇生法の手順をスムーズに実施できる。 3. AEDを安全に使用できる。 < E-1-5/ 必-13-B-a, 総-(X)-3 >	同上
11月27日(水) 13:00～14:30	平常試験1	* 平常試験の内容については別途連絡します。	渋谷鑛 石橋肇 山口秀紀 卯田昭夫
11月27日(水) 14:40～16:10	患者管理法	ビデオ供覧	同上
12月4日(水) 13:00～14:30	全身麻酔 ・全身麻酔の概念と方法 ・術前管理	【準備学習項目】 1. 全身麻酔について説明できる。 2. 前投薬について説明できる。 【講義】 1. 全身麻酔の適応と術前評価について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必-15-J-b, 総-(X)-6-C > 2. 前投薬の使用法と薬理学的作用を説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必-15-J-b, 総-(X)-6-E >	渋谷鑛
12月4日(水) 14:40～16:10	全身麻酔 ・吸入麻酔薬 ・静脈麻酔薬	【準備学習項目】 全身麻酔薬を分類し、それぞれ説明できる。 【講義】 1. 吸入麻酔薬、静脈内麻酔薬の薬理学的性質について理解する。 2. 吸入麻酔薬、静脈内麻酔薬の導入、維持、覚醒について理解する。 < E-1-3)-(4)/ 必-15-J-b, 総-(X)-6-D >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月11日(水) 13:00 ~ 14:30	全身麻酔 ・筋弛緩薬 ・気道確保 ・麻酔装置と麻酔法 ・術中管理	【準備学習項目】 1. 筋収縮について生理学的に説明できる。 2. 気道確保法を列挙できる。 3. 全身麻酔に必要な器具・器材を列挙できる。 4. 呼吸・循環生理および代謝について説明できる。 【講義】 1. 筋弛緩薬の生理・薬理学的機序について理解する。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-E > 2. 全身麻酔中の気道確保の意義と方法について説明できる。 3. 全身麻酔に必要な器具・器材について説明できる。 4. 全身麻酔中の呼吸・循環・代謝管理の方法と生理学的問題点について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C >	同上
12月11日(水) 14:40 ~ 16:10	全身麻酔 ・気管麻酔 ・術後管理	【準備学習項目】 気管挿管について説明できる。 【講義】 1. 気管麻酔の実際について理解する。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C > 2. 術後管理の意義と目的を述べることができる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C >	同上
12月18日(水) 13:00 ~ 14:30	小児の麻酔管理 障害者の麻酔管理	【準備学習項目】 1. 小児の身体的・精神的特徴について説明できる。 2. 歯科治療上問題となる心身障害について述べるができる。 【講義】 1. 小児の全身麻酔管理の特徴について説明できる。 2. 障害者の麻酔管理の特徴について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C >	山口秀紀
12月18日(水) 14:40 ~ 16:10	口腔外科手術と全身麻酔 歯科患者の日帰り麻酔	【準備学習項目】 1. 口腔外科手術の特徴について説明できる。 2. 日帰り手術について説明できる。 【講義】 1. 歯科・口腔外科手術のための全身麻酔の特徴について説明できる。 2. 歯科・口腔外科手術の日帰り麻酔の特徴と留意点について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C >	同上
1月8日(水) 13:00 ~ 14:30	高齢者の麻酔管理 訪問歯科診療における患者管理	【準備学習項目】 1. 高齢者の身体的・精神的特徴について説明できる。 2. 訪問歯科診療について述べるができる。 【講義】 1. 高齢者の麻酔管理の特徴について説明できる。 2. 高齢者歯科患者の全身リスク評価について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C > 3. 訪問歯科診療における患者管理の特徴について説明できる。 4. 訪問歯科診療における患者リスク評価について述べることができる。 < E-1-3)-(4)/ 各 -IX-(IV)-5 >	同上
1月8日(水) 14:40 ~ 16:10	全身疾患を有する患者の全身麻酔	【準備学習項目】 歯科治療上問題となる全身疾患について述べるができる。 【講義】 全身疾患を有する患者への麻酔管理法上の留意点について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C >	同上
1月15日(水) 13:00 ~ 14:30	疼痛治療・管理方法 ・痛みの生理学 ・痛みの病態と治療	【準備学習項目】 顎顔面の痛みについて説明できる。 【講義】 1. 神経疾患の特徴と痛みのメカニズムについて説明できる。 2. 三叉神経痛、顔面神経障害の病態と治療方法について説明できる。 3. 非定型顔面痛の発生機序と治療方法について説明できる。 < E-2-4)-(6)/ 総 -(VI)-8, 各 -IV-(III)-2 >	渋谷 鑑 下坂 典立
1月15日(水) 14:40 ~ 16:10	疼痛療法・管理方法 ・東洋医学的療法	【準備学習項目】 東洋医学的療法の種類を列挙し、説明できる。 【講義】 東洋医学的療法について説明できる。	渋谷 鑑

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月22日(水) 13:00 ~ 14:30	歯科治療時の全身的偶発症	【準備学習項目】 1. 歯科治療中の全身的偶発症を列挙できる。 2. ショックを分類し、その項目を列挙できる。 【講義】 1. 歯科治療中の全身的偶発症の成因、評価、治療方法について述べることができる。 < E-1-3)-(3)- / 総-(X)-6-F, 各-IV-(IV)-4 > 2. 各種ショックの分類、成因と病態、使用薬剤について理解する。 < E-1-3)-(3)- / 必-13-B-b >	同上
1月22日(水) 14:40 ~ 16:10	歯科領域の医療事故について	【準備学習項目】 医療事故・過誤について説明できる。 【講義】 麻酔・歯科麻酔関係の医療事故からその対応について理解する。 < A-5-1), 2)/ 必-4-B >	同上
2月5日(水) 13:00 ~ 14:30	平常試験2	* 平常試験の内容については別途連絡します。	渋谷 鑛 石橋 肇 下坂 典立 山口 秀紀 卯田 昭夫
2月5日(水) 14:40 ~ 16:10	平常試験3	* 平常試験の内容については別途連絡します。	同上